



KaSpi 宇宙セミナー



月面基地建設への挑戦～土木工学・地盤工学が切り拓く宇宙開発～

日時：2025年4月2日（水）18:30～20:00

会場：大阪公立大学 文化交流センター ホール（梅田サテライト）

講師：小林泰三（立命館大学理工学部 教授）

主催：関西宇宙イニシアティブ・大阪公立大学宇宙科学技術研究センター

協賛：日本航空宇宙学会関西支部

関西宇宙イニシアティブ・大阪公立大学宇宙科学技術研究センター

第85回KaSpi宇宙セミナー

月面基地建設への挑戦
～土木工学・地盤工学が切り拓く宇宙開発～

【日時】2025年4月2日(水) 18時30分～20時00分
【会場】大阪公立大学 文化交流センター（梅田サテライト）
【講師】小林泰三氏（立命館大学理工学部 教授）

RITSUMEIKAN UNIVERSITY ESEC

漫画や SF で数多く語られてきた月面基地の建設が、いよいよ現実味を帯びてきています。そこでは、輸送機の離発着場、実験・居住棟、アクセス道路といったインフラ構築が求められますが、その実現には地球上での建設プロセスと同様に、月面特有の環境や条件を理解するための測量や地盤調査が欠かせません。本講演では、現在開発中の月面地盤調査ロボットについて紹介するとともに、月面基地建設の実現に向けた技術開発の現状と課題、さらに将来に向けた展望を土木工学・地盤工学の視点から探求します。

【講師紹介】 小林 泰三（こばやし たいぞう）

立命館大学理工学部・教授／宇宙地球探査研究センター・副センター長

2003年、立命館大学理工学研究科で博士（工学）取得。九州大学で助手・助教、コロラド鉱山大学で客員研究員、福井大学で准教授を経て、2017年より立命館大学理工学部教授（現職）。土木工学（地盤工学）、テラメカニクスが専門。社会インフラ整備の施工・維持管理の効率化、建設機械の自動化などの地上研究に加え、長年、月資源利用、月面基地建設に向けた地盤調査装置の開発などの宇宙研究に取り組んでいる。内閣府第3期SIP「スマートインフラマネジメントシステムの構築」プロジェクトマネージャ、日本道路協会・道路土工委員会委員、JAXA国際宇宙探査委員会委員などを務めている。

右のQRコード/URLからお申し込みください。参加費は無料です。

NPO 法人関西宇宙イニシアティブ（KASPI）事務局

〒599-8531 堺市中区学園町1-1

大阪公立大学小型宇宙機システム研究センター内

E-mail: kaspi[at]omu.ac.jp [at]→@



<https://forms.gle/kaf7uaZuoF3Cmy8N6>